

姓 名

先日、檀家の H さんのお母さん佐登子(さとこ)さんが 99 歳の天寿を全うされお亡くなりになりました。H さんのお話では、佐登子さんは、お生まれになった時に御両親から「智子(さとこ)」と命名されたそうです。佐登子さんは戦時中に小学校の先生をされていたそうです。その時に校長先生から呼ばれ、「名前を智子から佐登子に代えなさい」と言われたそうです。理由は「智」は本来男性の名前に使うもので、一般女性にはふさわしくないからというものだったそうです。現在では理解できないことですが、当時、上司からの命令は絶対でした。佐登子さんは御両親からいただかれた「智子」という名がとてもお好きだったそうですが、泣く泣く改名されたそうです。そして、生涯「佐登子」を名乗られたそうです。佐登子の戒名には「智」を入れることにしました。

私の母の名前は「眞女主」と書いて「ますめ」と読みました。一度みたら忘れない印象的な名前です。と言うか少し怖い気すらします。母には兄姉が 5 名いました。5 人とも 20 歳までに戦死や病気で亡くなってしまっています。母を含めて 6 人とも、中国の昔の位の高い人から字を貰って名前をつけてそうで、どれも変わった名前だと思うものだったそうです。末娘の母だけが幼少の頃から母親(私の祖母)から名前ではなくいつも「みーちゃん」と呼ばれていたそうです。理由はわかりません。周りの友達からもそう呼ばれていたそうです。母は大人になって実印を作る時に、ある姓名判断する人からそれを指摘されたそうです。兄姉も含めて貴賓すぎる名前だったそうです。でも、母だけは「み

ーちゃん」と呼ばれていたのが命が助かったそうです。晩年の母がそう話してくれました。先ほどの佐登子さんが智子さんではなく、佐登子さんだから長生きできたのかなと私など思ってしまいます。

私の長男は、「開璃(かいり)」という名前です。私が高校生の中からお世話になっていた鍼灸医の E 先生にお願いしました。できれば、将来僧侶になった際、改名しなくてもよい名前にしてくださいなどと無理難題をお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。E 先生は盲導犬と二人でアメリカへ行ってしまおう方で尊敬していました。E 先生は開璃の名前のために、盲導犬と二人で市営バスに乗って点字の漢字辞典のある県立図書館へ 6 回もかよってくださったと後で知り恐縮しました。「璃」は『佛説阿弥陀経』の中にあります。どこか風通しが良く清々しさを感じる名前だと思いました。幼稚園から現在の職場まで、「カイリー」と皆が名前前で呼んでくれて、いつもニコニコしている人になってくれました。E 先生ありがとう。

私の知人で姓名判断をしている人がいます。その修行は大変です。字画の数の数え方などをマスターして、毎日かかさず、分厚い電話帳 1 ページ分の名前の画数を数えます。何年か継続すると数えなくてもその一文字の画数が見えてくるそうです。更に継続すると名前を見ただけで画数の数が並んで見えるそうです。更に継続すると、名前をみただけでその人の生い立ち、性格などがわかるそうです。そこまでなるのに、10 年以上、電話帳の名前を毎日毎日見続けるのです。

名前というのは、本当に神秘ですね。 俊徳丸